

第13回 腎研究セミナー

令和4年7月11日（月）18:30-19:30

医療人育成センター 2階 セミナー室



Zoomでもご参加できます。下記のURLか右のQRコードからお申し込みください。

<https://forms.gle/bAmBPKVGzYJMtMa36>

「メガリン創薬」が切り拓く新たな腎臓病学

新潟大学 腎研究センター トランスレーショナルリサーチ部門
機能分子医学講座
特任教授 斎藤 亮彦 先生

メガリン/LRP2はLDL受容体ファミリーに属し、主に腎近位尿細管細胞に発現するエンドサイトーシス受容体です（内耳、眼、脳、甲状腺、肺などにも発現します）。私たちは1994年にメガリンのcDNAクローニングに成功して以来、この分子のトランスレーショナルリサーチに取り組んできました。私たちは、メガリンが生理的リガンドの他、腎障害性物質の「入り口」として急性腎障害や慢性腎臓病の発症・進展に関わることを明らかにしました。そこで、適切な**メガリン拮抗薬**や**メガリン機能抑制薬**を開発し、それらの病態を抑制すること、さらに尿中メガリンをバイオマーカーとして定量するための**メガリン検査薬**を上市することにより、腎不全患者数の減少に貢献することを目指しています。私たちは、これら3つを合わせて「メガリン創薬」と呼んでいます。これらの研究は、これまで続けてAMED腎疾患実用化研究事業に採択されています。

基礎・臨床・トランスレーショナルの3部門からなる腎研究センターが主催するセミナーです。

腎臓分野の研究者、他分野の研究者、大学院生、学部学生、企業関係者をはじめ、多くの方々のご参加を歓迎いたします。

医歯学総合研究科

腎研究センター
Kidney Research Center

お問い合わせ先:
トランスレーショナルリサーチ部門
病態栄養学講座
細島 康宏
hoso9582@med.niigata-u.ac.jp
電話 025-368-9312